しゃきょう おおいそ

No.155 2026

「社協（しゃきょう）」とは、社会福祉協議会の略です。

社会福祉法人 大磯町社会福祉協議会
〒255-0003
大磯町大磯1352番地の1
大磯町立福祉センター「さざれ石」内
電　話　0463-61-9390
ＦＡＸ　0463-61-7614
ＵＲＬ　https://www.oiso-shakyo.jp/

大磯町社協のデイサービス
さざれ石の新しい取り組み



いつまでもいきいきと安心して
社協のデイサービス「大磯ケアセンターさざれ石」は、皆さまの毎日を応援します。

ごあいさつ

大磯町社会福祉協議会が運営するデイサービス「大磯ケアセンターさざれ石」では、利用者一人ひとりの「できること」や「やってみたい」を大切にし、10月からは手作りおやつ、11月からは外出レクリエーション、令和９年１月からは土曜日の営業を試行するなど、新たな取り組みを始めます。

これらの取り組みを通じて、食事や外出、人とのふれあいの楽しみを広げ、もっと身近に、地域とのつながりを感じられるデイサービスを目指してまいります。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大磯町社会福祉協議会　会長　仲川 元秋

2・3面もぜひご覧ください！

2面：手作りおやつ特集
「食べる楽しみ」から
「作る楽しみ」へ



3面：外出レク・土曜日の営業
11月からスタートする外出レク
令和９年１月から試行予定の
土曜日の営業について



「大磯ケアセンターさざれ石」の新しい取り組み

特集1

手作りおやつが始まりました

「食べる楽しみ」から「作る楽しみ」へ

利用者の「できること」を生かして、一緒につくります

10月からは、職員と利用者が一緒に、週1日程度の手作りおやつに取り組んでいます。材料に触れる、混ぜる、形を整える、盛り付ける――。それぞれのできることを生かして参加することで、作る楽しさや達成感、人との交流が生まれます。



① 選ぶ・考える

体調や得意なことに合わせて、無理なく参加できる役割を考えます。



② 一緒に作る

混ぜる、形を整える、盛り付けるなど、できる工程に参加します。



③ 一緒に味わう

できあがったおやつを囲み、会話や達成感をみんなで共有します。



④ 次につなげる

利用者の様子や声を振り返り、次回の内容や参加方法に生かします。



「できること」を生かして、安心して参加

参加の仕方は一人ひとり異なります。体調や身体の状態、食事の形態、得意なことに合わせて、無理なく楽しめる役割を考えます。職員が必要な見守りや支援を行い、手洗いや使い捨て手袋の着用など、衛生面にも配慮します。



地域とのつながりも、少しずつ

今後は、地域の方々にも調理にご協力いただき、実施方法や安全面を確認しながら、共同作業の機会を少しずつ広げていきます。作る楽しみを分かち合い、地域との交流やつながりを育んでいきます。



利用者のひとこと



次のステップは、手作りの食事

おやつ作りを通じて、厨房設備や調理器具、協力者と職員の役割、利用者の参加方法を確認します。取り組みが定着し、安全に続けられる体制が整ったら、手作りの食事提供も検討します。



「大磯ケアセンターさざれ石」の新しい取り組み

特集2

外出レクリエーション 11月からスタート





季節を感じながら、地域の名所や施設への外出レクリエーションを11月からスタートする予定です。外出することで、気分転換や新しい出会い、会話のきっかけにつながり、心身のリフレッシュを図ります。
行き先や日程は、利用者・ご家族へその都度ご案内します。

特集3

土曜日の営業　令和9年1月から試行予定

より多くの方にご利用いただけるよう、令和９年１月から第１・第３土曜日の営業を試行する予定です。平日と同様に、入浴・昼食を含む１日型のサービスを提供します。送迎などの詳細は、利用を希望される方・ご家族・担当ケアマネジャーへ個別にご案内します。

対　象

現在ご利用中の方を中心に、土曜日の利用を希望される方



提供時間

午前９時25分から16時30分まで（予定）
※送迎時間を含みます。
※詳細は、利用を希望される方へ個別にご案内します。

進 め 方

令和９年１月から試行的に実施し、利用状況やご意見を踏まえながら、本格実施を目指します。

職員体制

利用者の皆さまが安心して過ごせるよう、必要な職員を配置して対応します。

利用者募集中　見学・利用相談を随時受付

ご本人・ご家族・ケアマネジャーの皆さまへ

当事業所では、随時見学・利用相談を受け付けています。サービス内容や１日の流れ、送迎のことなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。皆さまのご利用をお待ちしております。



お問い合わせ お申し込み先　**0463-61-9390**　受付時間 8：30～17：15(月～金)

最新の情報は社協ホームページをご覧ください

安全面への配慮

外出先や施設内での活動においては、利用者の皆さまの安全を最優先に考え、職員の付き添いや健康状態の確認、感染症対策など、必要な配慮を行います。

報告 第33回 大磯町社会福祉大会



式典・社会福祉活動功労者表彰の様子

地域福祉を考え、交流する一日

10月３日(土)、大磯町立福祉センターさざれ石・地域センターを会場に、第33回大磯町社会福祉大会を開催しました。式典や各種表彰、ボランティア団体紹介、大磯小学校児童による合唱、福祉団体の出店・展示などを通じ、地域福祉について考え、交流する一日となりました。午後には映画「ケアニン ～こころに咲く花～」を上映しました。

社会福祉活動功労者表彰

永年にわたり、民生委員児童委員、保護司、更生保護女性会、各種ボランティア活動などを通じて、地域福祉の推進に尽力された９名と１団体が表彰されました。これまでのご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。

写真前列の受賞者（左から）

庄司 典子 様 （民生委員児童委員）	織戸　明 様 （民生委員児童委員）	廣瀬 淑子 様 （傾聴ボランティア）	加藤 俊江 様 （傾聴ボランティア）
小林 美恵 様 （更生保護女性会）	宮川 美恵子 様 （保護司）	肥後 律子 様 （保育ボランティア）	竹村 次子 様 （傾聴ボランティア）

写真後列の受賞者（右から２人目）

髙島 鉄朗 様
（災害救援ボランティア）

●団体表彰●

大磯・二宮地区更生保護女性会

福祉作文コンクール・大磯小学校合唱



大磯小学校児童による合唱の様子

福祉作文コンクールでは、福祉について感じたことや考えたことをつづった作品の表彰を行いました。今回は、大磯小学校５年生の木内佐和さんが佳作に入選しました。また、大磯小学校の児童の皆さんによる合唱が披露され、会場に温かな歌声が広がりました。

※次号では、福祉団体による出店・展示やボランティアグループの紹介など、当日の様子を掲載する予定です。